



クラブテーマ

クラブ基盤の強化と地域に根差した奉仕活動

例会報告977
(2015. 2. 2)

司会：赤木 建治 S A A 委員



【開会点鐘】 中垣 範保 会長

【ロータリーソング】

『君が代』『奉仕の理想』

ソングリーダー：鍋木 孝和 会員



【お客様紹介】 中垣 範保 会長

- 両澤 清 様 (卓話講師/日本民話の会 会長)
- 守屋 辰雄 様 (東京小金井さくらRC)
- 関口 英朗 様 (東京国分寺RC)
- 岩田 敏雄 様 (東京小平RC)

【誕生会】 古殿 智浩 親睦活動委員

- 島野 敏明 会員 (2月10日)
- 鈴木 義明 会員 (2月11日)
- 浅川 直行 会員 (2月11日)
- 伊東 勝己 会員 (2月12日)
- 松田 博 会員 (2月14日)



【会長の時間】 中垣 範保 会長

皆さんこんにちは本日、両澤清先生には、私共クラブの卓話のためにお越しいただき誠にありがとうございます。語りのプロのお話しを楽しみにしております。よろしくお願いたします。

最初に宍戸会員についてです。多くの皆さんも心配して慰留に努めていただきました。最終的には私と金沢パスト会長の2人で説得に当たり、奉仕しながら楽しいクラブライフが送れる東京武蔵を目指すことを約束して退会を撤回していただきました。ともかく皆さん久しぶりに出席された会員が見えました



ら一人一人が心を込めて握手し声をかけて歓迎してください。その心が楽しいクラブライフに繋がると確信いたします。

さて、今年の地区大会についてはすでに連絡済みですが、例年通り品川駅前のグランドプリンスホテル新高輪国際館パミールです。1日目の2月24日は2時30分から会長・幹事会です。4時から地区指導者セミナーです。参加を希望される方は事前に事務局に2月5日までにお申し込みください。二日目の25日は全会員参加です。9時点鐘ですが、最初に各クラブの紹介がございます。遅れないようお願いいたします。行き方については幹事から後程説明します。新会員の方のようにまだ参加したことのない方にはスポンサーの方はサポートをしっかりとお願いいたします。一人ポッチにしないようにご配慮お願いいたします。次に、先月の27日に2750地区の第2回会長幹事会が新宿のハイアットで開催されました。要点をお伝えしたいと思います。

最初に坂本ガバナーから後半も奉仕の精神を忘れず気を抜かない様に頑張れと気合いが入りました。続いて各委員会から報告がありました。最初に会員委員会から一人でも多くの会員増強を図る為に作次作戦も推進したいので推薦状を全会員に配布し、候補者を募ってほしいとのことで、今日お配りしました。全国でお知り合いの中に相応しい方がおいでになりましたら是非ご推薦下さい。

次に鈴木財団委員長からは来年の補助金申請を忘れないように早目にとすること、5月11日のポリオ撲滅チャリティーゴルフへの参加要請がありました。当クラブは理事会、例会の日ですが、参加の方はメイクになります。

次に国際大会委員会からサンパウロで開催される6月6日から9日までの年次大会の参加者が少なく各クラブに参加要請がありました。奮ってご参加ください。

【入会式】

小川 義幸 会員・維持増強委員長



瀬野ちどり 会員選考・職業分類委員長

また新しい仲間が増えました。横道会員の紹介で入会されました。伝統ある我がクラブにふさわしい人物として入会が決定しました。



◆ 認証状・バッチの贈呈

中垣 範保 会長より 保坂 光彦 新会員へ



◆ 花束の贈呈

輿水 香 会員より 保坂 光彦 会員へ



◆ 紹介者／横道 哲夫 会員

昨年末はお一人入られましたが、また今年お一人入ったことを喜ばしく思っております。私の会社の顧問弁護士をされています。大変優秀な方です。国分寺に新築されたこともあり、これで完璧に整ったという感じです。



◆ 新入会員挨拶／保坂 光彦 新会員

弁護士の保坂と申します。現在、セット設計さんと同じビルに入ることになり、通いやすくなり今回改めて入会させて頂くことになりました。2、3月は予定がすでに入ってしまったので来る事が難しいですが、4月以降は毎週出席できるよう努力致します。



【幹事報告】

水島 至 幹事



- 1月26日(月) 国分寺地区配分推薦委員会
- 1月26日(月) 第2回 東京都共同募金会
国分寺地区協力会 理事・監事会
- 1月27日(火) 第2回 クラブ会長・幹事会
- 1月28日(水) 新会員研修セミナー
- 1月29日(木) 国分寺消防協働団体合同賀詞交換会
- 1月29日(木) 6クラブ合同例会打合せ
- 1月30日(金) 21世紀 歴代グループ幹事会
- 2月2日(月) 理事会

【委員会報告】

◆ 出席委員会／出席報告

伊藤 勝己 出席委員



会員数 45名 免除 5名 有効会員数 40名
出席者 30名
メイクアップ済 1名
計 31名 出席率 83%
前々回 75% を 80% に訂正

◆ 米山記念奨学委員会

影山 昭夫 米山記念奨学委員長
各自のレターBOXに米山寄付金の領収書を入れさせて頂きました。宜しくお願い致します。



◆ 会員組織委員会

井口 敏之 会員組織副委員長
炉辺会議を開催致します。関係者にはお知らせが行っていると思います。宜しくお願いします。



【ニコニコボックス】

角田 桂司 親睦活動委員

関口 英朗 様 (東京国分寺RC)

久し振りにお世話になります。

中垣範保 会長・水島 至 幹事

本日は両澤清様にはご多忙のところ、卓話のためにお越しいただきありがとうございます。楽しみにしております。保坂さん入会おめでとうございました。

古殿 智浩 会員

二女の娘の高校受験が無事終わりました。嬉しいので入学金の端数をニコニコします。

本多 幸雄 会員

本日は保坂光彦様の入会を心より歓迎いたします。昨年、私の会社の売上に多大なる貢献をして頂きました。その節はありがとうございました。今年ももうけさせて下さい。

※ ニコニコ大賞：横山健二郎 会員

先月29日に息子に女の子が誕生しました。一人目の内孫です。元気に育ってくれることを願ってニコニコします。



【お知らせ】

第3回新人研修会のお知らせ

金澤 昇 研修PJ副委員長

明日、小金井の葦で研修会を行います。
よろしくお願致します



【卓話】

講師紹介：横道 哲夫 プログラム委員長
プロフィールはお手元の資料のとおり
です。多摩地域の昔のお話をボラン
ティアでなさっていらっしゃいます。

時間がないので、簡単な挨拶で失礼致します



講師：両澤 清 様

(日本民話の会 会員)

テーマ：民話の話

◇講師プロフィール

多摩地域の民俗に造詣が深い。日本民話の会会員と
して多摩地域の民話を採集し、語り部として紹介し
ている。江戸東京たてもの園の古民家の炉端でボラ
ンティアとして昔語りをしている。

・謝辞 中垣 範保 会長



【閉会点鐘】

中垣 範保 会長

先人の暮らしと民話の心

歴史を誇れる郷土国分寺市

国分寺の名称がついた全国唯一の市「国分寺市」は郷土と
して他に誇れるものである。

古代、七道伽藍をめぐらし7重の塔のそびえたつ国分寺最
大規模の武蔵国分寺が建てられたのである。

聖武天皇の詔は全国68カ国に国分寺を建てること。国分寺
は国の華であるので好所を選ぶことが立地条件であった。府中
(国衙)に近く交通の便がよく(東山道武蔵路)、水が得やす
かった(国分寺崖線)場所が現在の国分寺市の地である。つま
り古代から住み易い土地であったのである。

I 先人の暮らし(貧しい中にも楽しみがあった)

(1) 自然環境に左右される暮らし

ほとんどが自給自足のため、天災、飢饉などで食料など
が手に入らぬ時は飢えに苦しむ生活が多く、特に食料難に
苦しむ暮らしであった。〔姥捨て山伝説(東大和・東村山)
間引き・水子など。〕

白い飯はめったに食べられず、口にするのはモノ日ぐら
いであった。うどんはごちそうであった。

(2) 自然や神仏への畏敬

神棚の皇大神宮、恵比寿・大黒をはじめ、荒神様(おか
ま様)屋敷神、水神などが祀られた。御嶽神
社・榛名神社・伊勢神宮など講が組まれ、様々な形で参拝
が行われた。路傍に庚申塔や地蔵が祀られ、地域の人たち
の信仰を集めた。

年中行事は家族や地域の楽しみであった。信仰と結びつ
き、モノ日としてご馳走を食べたり、近所の人が集まって、
にぎやかに行事が行われたりもした。国分寺の盆の行事は
7月31日に迎え火を焚き、8月2日に送り火を焚いた家が
多い。これは養蚕や農作業の関係である。

親戚や近所の付き合いなど暮らしの上で現在より結びつ

きが強かった。

(参考資料 国分寺市の民族1～6＝国分寺市教育委員会)

II 民話の心

(1) 民話とは

民衆の生活の中から生まれ、伝承されてきた説話である。
昔話、伝説、世間話など土地の暮らしの歴史が浸みこみ、
生活の匂いをかぐことができる。その土地に暮らしした先人
の生活の息吹に触れ、一体感を味わい、地域住民としての
帰属意識が生まれる。経済優先、物の溢れる暮らしの中で
「心」の問題が問われている今こそ民話の心を考え直さね
ばならぬときであろう。

(2) 国分寺に伝わる民話

図書館等にあるものは、国分寺市報に昭和61年3月1日
～平成元年12月1日まで「国分寺むかしむかし」という題
名で連載されたもの。それを後に絵本「国分寺のむかしむ
かし」として児童向けに編集発行された。

「一葉松」「真姿の池」「雨乞い」他
(太田和子著、挿絵前川妙子、表紙豊川姥子)

(3) 民話の語り「雨乞い」再話・語り 両澤 清

再話とは伝えられた話を自分の話として再編したもの。
今回は多摩弁の話し言葉での語り。

この話は多摩地域の各地に昔ばなしとして伝わっている。
春から夏にかけて雨が降らず、日照りが続くと作物が育た
ないので実際に雨乞いの行事が行われた。代表に選ばれた
若者が竹筒を持って御岳山の七代の滝からご神水をいただ
いてきて、小川をせき止め、そこに注いで、禪姿の男たち
がその水たまりに入り、互いに水を掛け合って暴れ、楽し
んだということである。雨乞いの日には洗濯物を干しては
いけないとも言われていた。

これが年中行事のように頻繁に行われると心待ちにされ
ていた。今では懐かしい思い出話となっている。

東京武蔵国分寺ロータリークラブ

会長：中垣 範保 幹事：水島 至

クラブ広報・会報委員会 委員長：鍋木 孝和 副委員長：櫻井 健生 委員：井口 敏之

例会場 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル8F Lサロン飛鳥

事務局 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル9F

Tel 042-323-3443 Fax 042-323-3459